

専門演習3	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習3	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー (PSW) 経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習3	2	ソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
専門演習3	2	本科目自体は、実務経験と関係ないが、テーマによっては実務経験者への聞き取りなどもあり得る。	○	○	○
専門演習3	2	希望者には、指導教員が実施している認知行動療法の臨床および見学を予定している。	○	○	○
専門演習3	2	教員がこれまで現場で経験してきた、福祉住環境整備や地域支援、行政委員会での議論の進め方などを活かし、実際の事例をもとに研究の進め方を学ぶ。調査の方法や倫理、関係者とのコミュニケーションなど、現場で求められる視点を取り入れながら、学生が主体的に研究を深められるよう支援する。	○	○	○
専門演習4	2	学芸員の実務経験を活用した指導を行う。	○	○	○
専門演習4	2	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー (PSW) 実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
専門演習4	2	希望者には、指導教員が実施している認知行動療法の臨床および見学を予定している。	○	○	○
専門演習4	2	教員がこれまで現場で経験してきた、福祉住環境整備や地域支援、行政委員会での議論の進め方などを活かし、実際の事例をもとに研究の進め方を学ぶ。調査の方法や倫理、関係者とのコミュニケーションなど、現場で求められる視点を取り入れながら、学生が主体的に研究を深められるよう支援する。	○	○	○
専門演習4	2	私たちの周りには多くの憲法問題があります。私たち一人ひとりの人権が適切に保障される社会のあり方を考えることは、とても大切です。ぜひ、演習の時間以外にも、ご家族や身近な方と憲法や国・地方公共団体について積極的に話しみてください。	○	○	○
精神保健の課題と支援	2	精神保健福祉士としての勤務経験を踏まえ授業を展開する	○	○	○
生徒・進路指導論 (2019)	3	40年近く中等教育の現場で研究開発学校の管理職 (中高副校長・進路指導主事・研究主任など) として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かし、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について生徒指導・進路指導の体験を基に指導を行う。	○	○	○
社会情報統計論1	2	実際の社会調査データなどを例として説明します。	○	○	○
社会調査論	2	学術調査だけでなく市場調査の現地調査員等の経験がある教員が、調査活動の全体像を事例を交えながら講義する。さらに、地方公共団体の統計担当部署による調査実務や、ジャーナリストを招いた取材活動の実践に関するレクチャーも交える。	○	○	○
社会福祉援助技術総論	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー (PSW) 実務経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
社会福祉援助技術方法1	4	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー (PSW) 経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
社会福祉援助技術方法2	4	実践から学ぶ社会福祉学の研究者、ソーシャルワーカー養成教育者として、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。	○	○	○
社会保障論	4	福祉行政での行政実務経験を踏まえた講義を行う。	○	○	○
心理学的支援法	2	臨床心理士・公認心理師としての教員の実務経験を交えながら、現場での心理学的支援の実践を学びます。	○	○	○
障害者・障害者心理学	2	担当教員の児童福祉施設における臨床心理士・公認心理師としての実務経験を交えながら、講義を展開する。	○	○	○
社会・集団・家族心理学B	2	臨床心理士・公認心理師として臨床実務経験のある教員が講義する。	○	○	○
心理演習	2	臨床心理士・公認心理師の資格を持った教員が担当し、自身の心理臨床経験に基づいて心理臨床実践につながる教育を行う。	○	○	○
心理実習1	1	担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を活かした教育を行います。	○	○	○
心理実習2	1	担当教員の臨床心理士・公認心理師としての実務経験を活かした教育を行います。	○	○	○
社会科・公民科教育法A	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職 (中高副校長) として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かし、課題 (問い) を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。	○	○	○
社会科・地理歴史科教育法A	2	40年近く中等教育の現場で生徒を主体とした社会科教育の実践と、研究開発学校の管理職 (中高副校長) として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。こうした経験を活かし、課題 (問い) を中心とした教科指導の理論と実践について具体的な課題を挙げながら教科指導の授業を行う。また、学校安全管理の視点と法令を遵守した生徒指導の重要性について教科指導の体験を基に指導を行う。	○	○	○
障害福祉論	2	ソーシャルワーカーとして現場経験を生かした授業を実施	○	○	○
相談援助演習1	2	教員は、社会福祉実践に携わる社会人学生や社会福祉士への研修経験を有しており、その実践知識を授業に反映する。相談援助の基礎を踏まえつつ、現場で活かせる視点や技術を重視した講義・演習を行う。	○	○	○
相談援助演習3	2	本科目は社会福祉士国家試験受験資格課程のための必修科目であり、厚労省の法令により、「教員要件」が厳格に規定されている。担当教員は全員、原則的にソーシャルワーカーとしての実務経験を有しているため、適宜それをふまえた講義、説明を行う。	○	○	○
相談援助演習4	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。	○	○	○
相談援助演習5	2	社会福祉士として施設での勤務経験を踏まえ授業を展開する。	○	○	○
相談援助実習1	6	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。	○	○	○
相談援助実習2	1	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員原則としてソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、実習中の巡回指導時、適宜そのことをふまえた指導を行う。	○	○	○
相談援助実習指導1	2	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は全員ソーシャルワーカーとしての実践経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。	○	○	○
相談援助実習指導2	4	本科目は「社会福祉士国家試験受験資格課程」科目であり、厚労省の法令において、「教員要件」が厳格に規定されている。その要件をふまえて、本科目担当教員は原則的に全員ソーシャルワーカーとしての実務経験を有しており、適宜、その経験をふまえた講義を行う。	○	○	○
卒業論文	8	精神科病院における3年間のソーシャルワーカー (PSW) 経験をふまえて、適宜ソーシャルワークの実践について講義を実施。	○	○	○
卒業論文	8	ミクロからマクロまでの研究経験を踏まえて可能な範囲で学生に合わせた指導に取り組み	○	○	○
卒業論文	8	教員がこれまで現場で経験してきた、福祉住環境整備や地域支援、行政委員会での議論の進め方などを活かし、実際の事例をもとに研究の進め方を学ぶ。調査の方法や倫理、関係者とのコミュニケーションなど、現場で求められる視点を取り入れながら、学生が主体的に研究を深められるよう支援する。	○	○	○
スクールソーシャルワーク論	2	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
スクールソーシャルワーク演習	1	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
スクールソーシャルワーク実習指導	1	スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的な内容を含めて授業を展開します。	○	○	○
スクールソーシャルワーク実習	3	名古屋市教育委員会における研修講師等の経験を活かして取り組んでいきます。	○	○	○
地域福祉論	2	実践から学ぶ社会福祉学の研究者、ソーシャルワーカー養成教育者として、理論と実践を結びつけられるような講義を実施する。	○	○	○
知的財産法	2	知的財産の実務家である弁護士が講義をします。	○	○	○
都市政策論	5	5人の講師は、それぞれ以下のような名古屋市での豊富な実務経験を活かして講義します。 大井一法務審査官・訴訟、都市農業、泰山動物園の再定、区長、名古屋市動物公理事長など	○	○	○
特別支援教育1	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的、実践的な講義を行う。	○	○	○
特別支援教育2	2	本科目は、大学病院の小児科病棟勤務経験のある教員が、その経験を活かした具体的、実践的な講義を行う。	○	○	○
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2	40年近く中等教育の現場で研究開発学校の管理職 (中高副校長・進路指導主事・研究主任など) として学校運営のみならず研究開発にも取り組んできた。学級担任としての経験も豊富で、生徒が主体的に参加する月田研修を行ってきた。また、研究開発では特に「総合的な学習の時間」の研究開発に研究主任として取り組んだ。こうした経験を活かし、特別活動論・総合的な学習の時間の指導法に実体験を基に指導を行う。	○	○	○

【専門教育科目】	0	0	0
全学共通科目	135	135	135
学部等共通科目	47	70	7
専門科目	182	205	142
単位数合計			

【教養教育科目】	30	30	30
全学共通科目	28	28	28
学部等共通科目	0	0	0
専門科目	58	58	58
単位数合計			

【合計】	30	30	30
全学共通科目	163	163	163
学部等共通科目	47	70	7
専門科目	240	263	200
単位数合計			